

UR まど

2017 8

No.236 隔月刊



街に、ルネッサンス

UR UR都市機構

<http://www.ur-net.go.jp/>

団地TOPICS／気になるお店 4・5

快適団地LIFE 6

カンタン体操／暮らしの雑学／読者のひろば 7

団地イベント Pick Up!／彩りレシピ 8

編集・制作 株式会社オフセット

つながる ∞ ひろがる 交流の輪

武庫川 〈兵庫県西宮市〉

ACCESS

◎阪神武庫川線「武庫川団地前」駅から徒歩約5分

◎阪神本線「甲子園」駅から阪神バス約12分「武庫川団地中央」又は「武庫川団地南」下車



受け継ぐ地域の誇り

ひととひと、まちを結ぶ祭り

高須フェスティバル

毎年8月、第1金・土・日曜に開催される高須フェスティバル。西宮市高須町の10自治会・管理組合で構成される高須自治協議会が主催する夏祭りは今年で38回目を迎え、地域の若者の間では「高フェス」と呼ばれて親しまれています。武庫川団地の住民だけでなく、周辺の住民やかつて団地に住んでいた方など、3日間でおおよそ1万8000人もの人が集まります。

高須フェスティバルの大きな特徴は、自分たちで一から作り上げるところです。祭りが始まった当初は屋台も業者に委託していましたが、約30年前からは全て自分たちの手で運営することに。出し物プログラムも協議会で企画して、出演団体への交渉から運営まで行います。

武庫川団地自治会の田中俊行副会長は「これだけの規模の祭りを自分たちだけで運営するのは本当に大変です。それでも、団地設立時から続く祭りですから」と先人たちの思いを受け継いでいます。

本番では近隣の小中高校の学生がコンサートや子どもみこし、ゲームコーナーなどを担当しており、大盛り上がりです。また、やぐらの設営や解体は、近隣の西宮南高校運動部の生徒が毎年サポートしてくれています。周辺小中高校のこうした協力は、長年の信頼関係あってこそです。

住民の思いがバトンのようにつながる高須フェスティバル。今年の祭りでもまた多くの人々が足を運んで、新しいバトンが繋がれていくことでしょう。



3日目の子ども祭りは、近隣の中学生や小学生による子どもみこしで幕を開けます。子どもたちが元気よく大小のみこしを担ぐ様子を、観客も思わず笑顔になります。写真右／2日目と3日目に行われる盆踊り。お祭り広場に設けられたやぐらの周囲に笑顔の輪が広がります。

〈初日〉

前夜祭

自治会やPTAが出店しているので模擬店のかき氷は100円、たこ焼きは150円など、どれもリーズナブルな価格



〈2日目〉

本祭り

中学校や高校の吹奏楽部が出演するたそがれコンサート。高須フェスティバルの始まりを告げる音が響きます



〈3日目〉

本祭り+子ども祭り

中学生発案のゲームなどが楽しめる子ども祭り。他にも相撲大会、舞台、プールなど、子ども向けのイベント盛りだくさん!



※掲載写真は2014～2016年の祭りの様子



距離も時間も縮めてくれる祭り

武庫川団地自治会 橋本宗樹会長

高須フェスティバルは、就職や結婚で街を離れた人たちにとって、今なお祖父や祖母が住む団地を訪れるきっかけとなる大事な行事です。また、フェスティバル中にミニ同窓会のような光景をよく目にしますが、若い人にとっては友人との結びつきを強める場にもなっているようです。人と人をつなぐお祭りとして、これからも続けていきたいです。



生徒が自信をつける成長の場

県立西宮南高校 加藤敏浩教頭

高須フェスティバルとのご縁は、吹奏楽部が参加した1987(昭和62)年までさかのぼります。今では、やぐらの組立や解体、子ども相撲の土俵づくり、音響補助、コンサートアナウンスなど、さまざまなお手伝いをしています。こうした頑張りを地域の方に認めてもらえるのは生徒には大きな自信になっており、成長していく生徒の後ろ姿をいつも頼もしく見ています。

大切な団地の風景

美団地

KANSAI

団地の祭り

美しい団地には、“こだわり”がいっぱい。歴史や伝統、四季折々の美しい風景を毎号お届けします。



浜甲子園(兵庫県西宮市)



パークタウン西武庫(兵庫県尼崎市)



男山(京都府八幡市)

団地の美を発信しています!



@vidanchi_kansai



@vidanchikansai



vidanchi.jp/kansai

水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター TEL.06-6969-2151